

後援：日本医療研究開発機構、日本臨床腫瘍学会、日本臨床薬理学会

Frail患者における抗がん薬の適正使用に むけた臨床薬理学的アプローチ

2020年

日時

3月20日(金) 9:30-17:00

会場

国立がん研究センター研究所 大会議室
東京都中央区築地5-1-1

定員

150名

参加費

無料（昼食込）

世界的にがん患者の高齢化は進んでおり、加齢に伴い生理機能・臓器機能は低下し、がん治療を行う際に一定の注意が必要です。さらに、積極的な治療の適応にならないと思われる状態(Frail)の患者集団に対しては、治療適応、治療強度、治療スケジュールなど様々な課題が存在するが、十分なエビデンスがありません。そこで、本研究会では、Frail患者に対する抗がん薬の適正使用を目指し、臨床薬理学的見地から積極的な討論を行い、より実践的な研究手法について議論します。

要申込



<https://form.run/@frail-ws>

お問い合わせ：

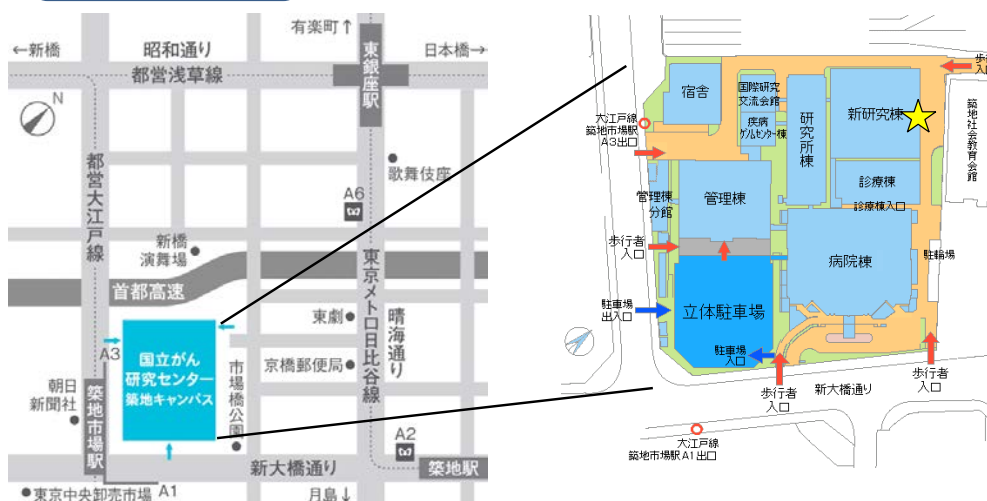
NCC-pharm@ml.res.ncc.go.jp

国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野
濱田 哲暢

タイムスケジュール

- 9:30-9:40 挨拶：濱田 哲暢（国立がん研究センター研究所）
- 9:40-10:40 Clinical Questionへの解決に向けて 司会：青木 一教先生（国立がん研究センター研究所）
演者：松元 一明先生（慶應義塾大学薬学部 薬効解析学講座）
「腎機能障害モデルラットにおけるニボルマブの薬物動態」
演者：畠山 浩人先生（千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学研究室）
「マウスモデルにおける抗PD-1/PD-L1抗体の動態および薬効の比較解析」
演者：柳下 薫寛（国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野）
「網羅的薬理学的遺伝子解析による安全性の予測」
- 10:40-12:00 殺細胞性抗がん剤 司会：南 陽介先生（国立がん研究センター東病院）
演者：岡元 るみ子先生（千葉西総合病院 腫瘍内科）
「frailがん患者に対する抗がん剤治療の現状と対策-悪性リンパ腫を中心に」
演者：細野 奈穂子先生（福井大学病態制御医学講座 内科学(1)）
「高齢者AMLに対する抗がん剤治療の課題と新たな治療戦略」
- 12:15-12:50 ランチセミナー 司会：野口 瑛美先生（国立がん研究センター中央病院）
演者：嶋田 崇史先生（Shimadzu Scientific Instruments, Inc. USA）
「薬物血中濃度測定評価系構築にかかる留意点」
- 13:10-14:00 特別講演：南 博信先生（神戸大学）
「臨床腫瘍学における臨床薬理学への期待」
- 14:00-15:20 分子標的薬 司会：磯部 威先生（島根大学 呼吸器・臨床腫瘍学）
演者：山田 一彦先生（新古賀病院 呼吸器内科）
「Frailtyを有するEGFR遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対する薬物療法」
演者：水柿 秀紀先生（北海道大学病院 内科 I）
「Frailtyを有する非小細胞肺癌患者の分子標的薬の現状と課題」
- 15:40-17:00 免疫チェックポイント阻害剤 司会：安藤 雄一先生（名古屋大学 化学療法部）
演者：三浦 裕司先生（虎ノ門病院 臨床腫瘍科）
「泌尿器腫瘍を有するFrail患者に対する免疫チェックポイント阻害剤の安全性について」
演者：吉田 達哉先生（国立がん研究センター中央病院）
「Frail肺癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の現状と問題点」
演者：北野 滋久先生（がん研有明病院 先端医療開発センター）
「Frail患者における免疫学的状態とは？」

アクセス



- 都営地下鉄大江戸線 築地市場駅 A1番出口から徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線 築地駅2番出口から徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線 東銀座駅6番出口から徒歩6分
- 東京メトロ有楽町線 新富町駅4番出口から徒歩9分